

東京都福祉人材確保対策推進協議会運営協議会資料 東京労働局・都内ハローワークにおける人材確保対策の取組

令和7年6月

東京労働局 職業安定部

Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan

東京の職種別有効求人倍率の状況

有効求人倍率の 動向

保安、建設、介護、サービス等の職業で人手不足問題が恒常化。
人手不足職種に若年者層の入職が少ないこともその要因のひとつ。

◆有効求人倍率の高い職業（令和7年4月）

【一般常用】

職業	求人倍率
保安職業従事者	14.12倍
介護サービス職業従事者	8.13倍
建設・土木作業従事者	6.98倍
機械整備・修理、検査従事者	6.19倍
建築・土木・測量技術者	6.09倍

* 有効求人倍率の高い職業5職業を掲載。なお、その他に分類される職業は除く。

【パート常用】

職業	求人倍率
保安職業従事者	15.76倍
接客・給仕職業従事者	8.23倍
介護サービス職業従事者	8.10倍
飲食物調理従事者	6.60倍
生活衛生サービス職業従事者	4.24倍

（資料出所）：東京労働局「一般職業紹介状況」

東京労働局・都内ハローワークにおける人材確保対策の取組

～医療（看護）・福祉（介護・保育）・建設・警備・運輸等分野～

○都内8所（新宿・渋谷・池袋・足立・墨田・木場・八王子・立川）に人材確保支援の総合専門窓口を設置

- ・ 求職者に対する **担当制によるきめ細かな職業相談と職業紹介**
- ・ 求人事業所における経営理念や入社後のキャリアパス、働く人の声などの詳細な情報提供による **マッチング強化**
- ・ 求人者に対しては、求職者ニーズを反映した、よりマッチング機会の高まる **求人票のアドバイスや企業・業界のPRなどを実施**
- ・ 事業所の見学と面接をセットにした「**ツアー型面接会**」の実施
- ・ **職場体験講習、各種セミナー**や見学会の開催

【人材確保・就職支援コーナー風景】

【ツアー型面接会風景】



【支援対象者】

人手不足分野への就職を希望している

仕事に関心があるが、経験・資格がなくて出来るのか不安

人手不足分野の仕事にブランクがあるけど再就職したい

まずは人手不足分野関係の資格をとりたい！

人手不足分野関係職種の内容について知りたい

求職者が希望する求人条件や分かりやすい求人票の作成について相談したい

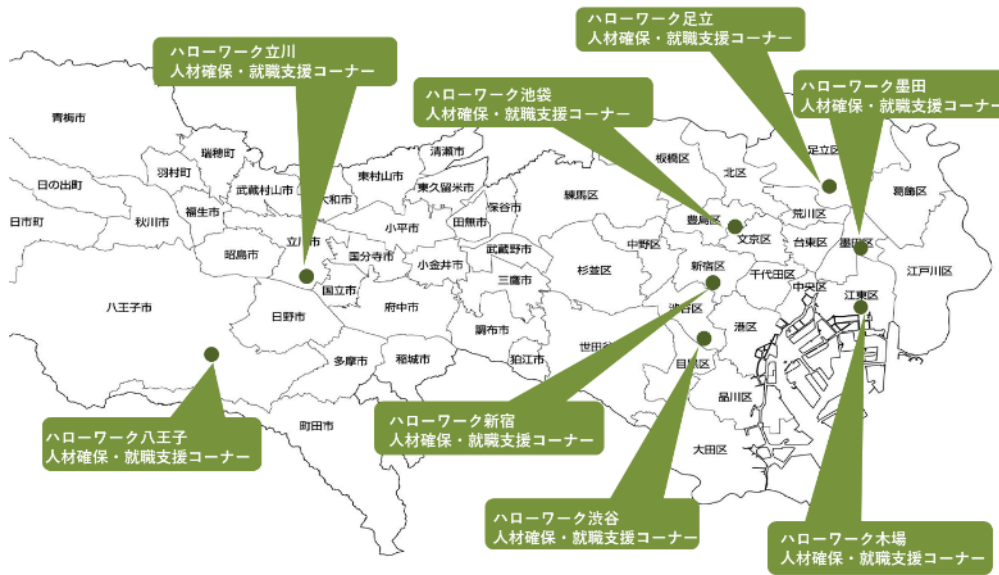
【ツアー型面接会】



【業界セミナー】



【公式Instagram】



都内ハローワークにおける人材確保対策の取組

ハローワークでは、日頃からの職業相談および職業紹介に加えて、下記のイベントを実施し、人手不足対策を行っております。

令和6年度にハローワークで実施したイベント

イベント種別	実施回数	参加者	参加事業所
求職者向けセミナー	230回	5,434人	-
事業所見学会	513回	2,788人	562社
就職面接会	594回	6,035人	1,753社



令和6年度 都内ハローワーク紹介で人材不足分野の職業に

16,243人

の方が就職しました

介護 4,785人 看護 1,892人 保育 1,295人
建設 1,622人 警備 2,522人 運輸 4,127人

【イベント風景】



※人材確保・就職支援コーナーを含む都内ハローワークの実績です。

東京都および福祉人材センターと連携した主な人材確保対策の取組事例

福祉の仕事 相談・面接会

TOKYO働きやすい
福祉の職場宣言事業所編

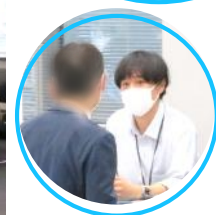
令和6年9月19日（木曜日）
新宿エルタワー 30階 サンスカイルームA

13:15~13:55 福祉のしごと入門講座
14:00~14:30 事業所PR
14:30~16:30 相談・面接会

26社が参加



参加企業数	26社
参加者数	92人
面接・相談件数	133件



ハローワーク相談コーナー

東京労働局・都内ハローワークにおける就職支援事例

事例 1



50代女性

長年、勤めていた会社から経営不振により突然の解雇となり、今後何をすればいいかわからなくなってしまい不安…

個別支援だからじっくり相談できて、今の自分にぴったりの「働きたい職場」が見つかりました！

背景と課題

- ✓ 26年勤務した会社の経営不振により解雇。突然職を失い50代でこの先どうしたら良いかわからなくなり、自身が出来る仕事を検討したが難しさもあり、やりたいと思える仕事が見つからなかった。
- ✓ 人材不足分野の会社説明会へ参加したものの働くイメージが湧かない。福祉分野も人手が足りない分野のため可能性があるかもしれないと区のイベントへ数回参加、不安はあるものの興味が持てたため窓口へ来所。

支援の経過

- 福祉業界の理解が進むよう施設の違いや基本的な職種について説明し、福祉業界で働くメリットや実際の仕事内容を具体的に伝達したところ、「やってみたい」と思えるようになった。身体介護など実務に関する不安はあるが、窓口にて相談を重ね働きたいと気持ちが固まった。
- 書類作りから難航したが、どうしてもPCで作成したいという思いがあり、添削を重ね書類を仕上げた。施設選びについて初心者、無資格から受け入れ可能、教育体制が充実している施設求人を見学を施設へ打診し数社見学をして頂く。
- その後、見学した施設の中から応募先を決めることが出来た。

結果

特養の介護職として正社員就職

応募先で正社員雇用となった。デイサービス、特養と求人があったが一から勉強ができ教育体制の整っている特養で採用となり、法人も「意欲の高い人材を探していたため無資格、未経験は関係ない」と報告を頂いた。退職後色々あったが、不安はまだあるが採用して頂き、スタートを切ることが出来ることに感謝したいと報告を受けた。

東京労働局・都内ハローワークにおける就職支援事例

事例 2



60代男性

長年、営業職として活躍し、今後も営業職を希望しているが、介護職に興味もあるが、経験がないし、年齢的にも難しそう…

ハローワークのセミナーや相談窓口を利用して、
未経験ながら、もともと興味があった介護業界の仕事に転職
できました！

背景と課題

- ✓ 長年営業職として活躍され今後も営業職を希望されていたが、職業相談の結果、「自身の親のことなどを考え、また高齢化社会ということで介護職にも少し興味がある」という気持ちを確認。
- ✓ 未経験分野へのキャリアチェンジに対する不安に共感しながらも、選択肢の一つとして介護業界や介護職種の理解を深めていただく支援が必須。
- ✓ 今後のキャリアについて納得のいく自己決定ができるよう寄り添った支援を行う。

支援の経過

- 介護職についてはまったく接点がなかったということで、イメージがわかるよう介護職ファーストステップセミナーに参加されることを提案。セミナーを受講され「現場の仕事のイメージがわいてきた」とのこと。
- 「通所の送迎ならできそうだ、ぜひ挑戦してみたい、誰かのお役にたきたい思いがある」という気持ちを伺い、介護施設、病院の送迎の求人を情報提供し検討いただく。
- 情報提供求人のうち、ご自宅近くの介護施設ツアー面接会に参加。

結果

送迎ドライバー（フルタイム）として就職

事業所施設長から説明をうかがい、施設見学を通して職場の理解を深め、納得された上で面接をうけ、送迎ドライバーとして採用されることとなった。